

●あの議員の判断は？ 賛否一覧表をご覧ください

議案番号	議員名	議案名	審議結果		議決結果	
			賛成	反対		
議案会第2号	安倍晋三元内閣総理大臣の「国葬」の中止を求める意見書		○	×	7:19	否決
第26号	津山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号等の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例		○	○	24:2	可決
請願第5号	「総合屋内25mプール」建設に伴う請願書を継続審査とすることについて		○	×	10:16	否決
請願第5号	「総合屋内25mプール」建設に伴う請願書		×	○	21:5	採択
請願第6号	日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書採択を求める請願		○	×	10:16	不採択
請願第7号	精神保健医療福祉の改善に関する請願		○	×	9:17	不採択

※ ○:賛成 ×:反対
 ※ 賛否状況は電子決システムでの記録に基づいて作成しています
 ※ 津本辰己議員は議長のため、採決には加わりません
 ※ その他の議案等は全員一致で可決、同意、答申となりました

採決の様子はYouTubeで
 ご覧いただけます



●私はこう考えます

採決を行う前に議案に対する賛成反対の意見を述べる討論が行われました。



議案会第2号に対する質疑

質疑:田口浩二議員
 答弁:河村美典議員(提案者)

問 私は国葬には反対の立場であるが、本件については個人の判断に委ねるもので、議会として意思統一をはかる必要はないと考えている。なぜ、議会として意見書を出さねばならないと考えたのか説明を求める。

答 地方自治法で「当該普通地方公共団体の公益に関する事」について国会や関係省庁に意見書を出せるとされている。今回の国葬は、法令の規定に基づくものではなく、また多額の国費を要するとされていることから、津山市民にも重大な不利益を生じさせるものであり、市民のために議会として意見することは当然の義務であると考え、本議案を提出した。

議案会第2号に対する反対討論

高橋寿治議員

議会は、地方自治法で国会や関係行政庁に意見書を提出することができると規定されているが、その範囲は「当該普通地方公共団体の公益に関する事」とされている。今回は津山市に費用負担等を求められているわけではない以上、その範囲に含まれていないと考え、本案件を意見書として取り扱うことは不相当であると判断し反対する。

議案会第2号に対する反対討論

三浦ひらく議員

市民の中に肯定派否定派、無関心層が入り交じっているであろう本案件の中止を求める意見書を提出するよりも、津山市議会では優先的に議論すべきことがある。また、津山市議会として、白か黒かはっきり意思表示するような問題ではないとの考えから、反対する。

農業
 問 農業生産において資材が高騰している。米価は2年連続低迷しているが対応を。本市として対策を検討していきたい。

経済
 問 実態と離れた経済支援政策になっていないか。市が経済動向調査を行うべきでは。独自調査が適当か検討したい。

台所を支える政策のために物価動向調査を!



公共交通
 問 ローカル線問題に対応するため沿線自治体と連携した利用促進のため、津山市としてリーダースhipを。
 答 因美姫新、津山線沿線自治体の首長とトップミーティングを開催する。



再開が待たれる倭文診療所

倭文診療所
 問 倭文診療所再開に向けてのスケジュールは。
 答 10月下旬から11月下旬に事業者を募集し、審査を経て、来年1月に契約締結する予定。

世界平和統一家庭連合・旧統一教会

日本共産党津山市議団
 中村聖二郎



【その他の質問項目】
 ◆谷口市政のあり方について



問 市長は、市議・県議時代を含めて、市長選挙、選挙応援などの有無、旧統一教会と考える団体への挨拶、激励などをを行ったことはないか。
 答 昨年8月までは、そのようなことはない。同月に実施された「ピーロード」という自転車で全国各地をまわるイベントで、令和3年度に県北ルートが創設されたことから実行委員から初めて津山市員会から初めて津山市員会に後援申請があり、イベントの目的及び内容などを基準に照らし合わせ審査した結果、後援を決定した。その当時は、旧統一教会との関係性は認識できていなかった。イベント当日は、津山市を出発する際の出発式に出席し、激励の言葉を述べている。

あの質問 その後どうなった!?

みんちやい103号より(令和3年9月定例会)

Q 行政施策が市民にあまりにも知られていない。職員一体となって効果的な情報発信をしていくことが必要と思うが。

その時の答え 職員一人ひとりの意識向上を図り、住民への丁寧で分かりやすい説明を行い、必要な情報が的確に伝わるようにしていきたい。

その後の状況 令和4年4月から企画財政部に広報PR担当の部長級職員を配置。市の方針や施策、行政サービスなど、必要な情報をより一層タイムリーにわかりやすくお知らせし、市民に開かれた市政の推進と行政サービスの向上に努めています。

津山市の公式SNSでも情報発信をしています。

LINE
公式アカウント

